



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月1日

上場会社名 株式会社 田中化学研究所  
コード番号 4080 URL <https://www.tanaka-chem.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横川 和史  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 山崎 龍太  
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 0776-85-1801

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,061	△14.4	1,348	15.6	1,146	△0.5	1,112	5.6
2023年3月期第1四半期	15,251	56.4	1,167	243.6	1,153	262.8	1,053	286.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	34.20	—
2023年3月期第1四半期	32.39	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	39,293	15,780	40.2
2023年3月期	40,087	14,657	36.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 15,780百万円 2023年3月期 14,657百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	11.0	1,000	△43.6	930	△41.1	830	△35.7	25.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	32,533,000 株	2023年3月期	32,533,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,243 株	2023年3月期	1,243 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	32,531,757 株	2023年3月期1Q	32,531,881 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における二次電池業界は、各国政府の規制や世界的な環境意識の高まりから多くの国でEVへの移行が促進され、EV市場は更なる拡大が見込まれております。

このような市場環境の中、当社の足下の業績は、電気料金や苛性ソーダをはじめとする各種原材料費等は前年より引き続き高い水準で推移しており、販売価格への適切な転嫁交渉を継続的に行っております。かかる状況下、主要顧客の生産調整の長期化や増産時期の遅れに加え、減価償却費及び労務費のコスト先行の状況は変わっておらず業績採算面で非常に厳しい状況が続いております。一方で、2019年10月に契約締結いたしましたノースボルトに対する技術支援については10億円の収益計上をしております。また、相場関連損益として2億円の収益計上をしております。

以上の結果、売上高13,061百万円（前年同四半期比14.4%減）、営業利益1,348百万円（前年同四半期比15.6%増）、経常利益1,146百万円（前年同四半期比0.5%減）、四半期純利益は1,112百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりです。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

## 「リチウムイオン電池向け製品」

前年同四半期比で15.8%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- ・車載用途（割合90%）は、顧客ごとの販売数量の増減の影響により、前年同四半期比で6.3%の減少となりました。
- ・民生用途（割合10%）は、最終製品の需要減少により前年同四半期比で57.1%の減少となりました。

## 「ニッケル水素電池向け製品」

前年同四半期比で47.5%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- ・車載用途（割合100%）は、前年同四半期は世界的な半導体や部品不足による自動車減産の影響で主要顧客からの受注が減少したものの、足下においては一定の需要が回復してきたことから前年同四半期比で47.5%の増加となりました。

(ご参考)

(ニッケル国際相場：円換算)

(単位：円/kg)

	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
2024年3月期	3,095	—	—	—
2023年3月期	3,781	3,075	3,601	3,475

(コバルト国際相場：円換算)

(単位：円/kg)

	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
2024年3月期	4,966	—	—	—
2023年3月期	10,997	8,169	7,746	5,368

※ ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均

コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

(相場関連損益)

営業利益に含まれている、主原料の購入から製品の払出までの期間の主原料の相場変動等に由来する相場関連利益（損失は△）は、以下の通りです。

(単位：億円)

第67期 第1四半期累計期間	第68期 第1四半期累計期間	第67期
9	2	18

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末比794百万円減少し、39,293百万円となりました。

その主な要因は、現金及び預金が4,435百万円増加した一方、売上債権が935百万円、グループ預け金が4,200百万円、有形固定資産が409百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比1,916百万円減少し、23,513百万円となりました。

その主な要因は、仕入債務が857百万円、長期借入金が300百万円減少したことによるものであります。

純資産は、四半期純利益を計上したこと等により前事業年度末比1,122百万円増加し、15,780百万円となり、自己資本比率は40.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

足下の業績をみると、主要顧客の生産調整の長期化や増産時期の遅れに加え、電気料金や苛性ソーダをはじめとする各種原材料費等は前年より引き続き高い水準で推移していることや、減価償却費及び労務費のコスト先行の状況は変わっておらず業績採算面で期初の予想通り非常に厳しい状況となっております。

一方で、ノースポルトに対する技術支援については10億円の収益計上をしております。また、相場関連損益として2億円の収益計上をしておりますが、今後の相場動向については予測が困難であることから、2023年5月11日に公表の予想から変更いたしておりません。尚、今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

（1）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,606	6,042
売掛金	6,173	4,943
電子記録債権	271	565
商品及び製品	2,699	3,829
仕掛品	2,404	2,155
原材料及び貯蔵品	3,291	2,690
グループ預け金	4,200	—
その他	62	36
流動資産合計	20,709	20,263
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,855	4,782
機械及び装置（純額）	9,348	8,951
建設仮勘定	3,227	3,281
その他（純額）	1,754	1,761
有形固定資産合計	19,185	18,776
無形固定資産	7	7
投資その他の資産		
前払年金費用	47	94
その他	137	151
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	184	246
固定資産合計	19,378	19,030
資産合計	40,087	39,293
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,333	8,332
電子記録債務	1,597	1,740
短期借入金	1,500	1,500
1年内返済予定の長期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	345	49
賞与引当金	197	103
設備関係電子記録債務	111	165
その他	1,427	988
流動負債合計	16,013	14,380
固定負債		
長期借入金	9,300	9,000
その他	117	133
固定負債合計	9,417	9,133
負債合計	25,430	23,513
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,155	9,155
資本剰余金	6,662	6,662
利益剰余金	△1,189	△77
自己株式	△2	△2
株主資本合計	14,625	15,738
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31	42
評価・換算差額等合計	31	42
純資産合計	14,657	15,780
負債純資産合計	40,087	39,293

（2）四半期損益計算書  
（第1四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
売上高	15,251	13,061
売上原価	13,446	11,156
売上総利益	1,804	1,904
販売費及び一般管理費	636	555
営業利益	1,167	1,348
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
為替差益	4	—
その他	0	0
営業外収益合計	7	2
営業外費用		
支払利息	19	17
為替差損	—	184
その他	1	2
営業外費用合計	21	204
経常利益	1,153	1,146
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	1,153	1,146
法人税、住民税及び事業税	109	22
法人税等調整額	△10	11
法人税等合計	99	34
四半期純利益	1,053	1,112

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。